

## 2021 年度 第 2 四半期決算 主要な質問に対する回答

### Q：2021 年度第 2 四半期の実績について総括していただけますか？

A：当第 2 四半期の実績は、一部地域では新型コロナウイルスの影響が続いているものの、北米・欧州を中心に市場が回復したことや、円安の影響により、前年同期比で大幅な増収増益となりました。また、当社が注力するバリューチェーン事業では、レンタル・中古車も堅調に増加し、マイニング事業も回復基調にあることから、確実に増収を確保することが出来ました。また、2021 年 8 月に発表した米・ディア & カンパニー社との合併事業解消に伴い、協議期間中に暫定計上していた米州向け売上の販売価格が決定し、調整額 111 億円を FY21Q2 の売上収益と各利益項目へ計上しています。売上収益は、前年同期比 31%増の 4,737 億円、調整後営業利益は、前年同期比 248%増の 381 億円で利益率 8.0%となりました。

### Q：2021 年度見通しについて総括していただけますか？

A：2021 年度の油圧ショベル市場見通しとしては、2021 年 4 月公表時から変更なく、全世界合計で 7%の減少と中国以外の地域における市況回復を見込みます。当社業績としては、当初計画より部品サービスを中心とするバリューチェーン事業の増収増益が見込まれること、米・ディア & カンパニー社との合併事業解消に伴い、上記で述べた調整価格 111 億円の一括計上と合わせて、第 4 四半期にはディア社との合併会社の当社保有株式の譲渡益として発生する約 80 億円を、今回の業績見通しに反映いたしました。一方で、鋼材価格のさらなる値上げと、米州での独自販売に向けた一時的な在庫増加に係る影響も合わせて勘案し、売上収益 9,200 億円(前年度比 13%増)、調整後営業利益 740 億円(同 126%増)と上方修正いたします。その前提となる 3Q 以降の為替レートは、前回 7 月時の想定値である米ドル 105 円、ユーロ 125 円、人民元 16 円、豪ドル 80 円を据え置いて作成しています。

### Q：マイニング機械の需要環境と受注状況について教えてください。

A：21 年度のマイニング機械の需要見通しは、世界経済の回復、各国の積極的なインフラ投資、好調な資源価格を背景に回復基調が強まっており、21 年度の需要見通しを前回の対前年度比 15%程度の増加から上方修正し、21%程度の増加を見込んでいます。当社の受注状況は好調で、ショベル売上は増加の見込み、トラックは当初予定からの売上計画の見直しにより、当期売上減の影響が見込まれますが、21 年度マイニング売上高における本体合計は、対前年度比 23%増の見通しを据え置いております。また、部品サービス見通しは同 20%増と、増加を見込みます。なお、2021 年度の当社マイニング売上見通しのうち、第 2 四半期末時点でショベルは 95%、ダンプトラックは 65%程度が既に受注済みとなっております。

### Q：現在報道されている、鋼材価格の上昇やコンテナ不足による物流リスク、半導体不足に伴う調達リスクなどが与える影響について教えてください。

A：前回決算で鋼材価格の上昇による影響を織り込んだものの、足元でさらなる鋼材価格の上昇を受けた為、Q3 以降に織り込んでおります。それに伴い、全世界でコンストラクション向けを中心に未受注分を対象に、売価の値上げを実施致します。資材費の上昇と売価の上昇にタイムラグがあり、今年度は資材費上昇をカバーしきれませんが、次年度以降も引き続き売価アップを実施していきます。

また、サプライチェーンにつきましては、部材調達は非常にタイトな状況が続いていますが、今年度の生産計画に大きな影響はでしていません。引き続き、サプライヤーとの連携を密に対策をおこない、生産・出荷への影響が最低限になるよう日立建機グループをあげて対応してまいります。現時点では、これらのリスクを含め、現状見込み得る範囲のリスクは、今回発表の年度業績見通しに織り込んでおります。